■特長

この時計はPN液晶（ポリマーネットワーク液晶）を使用することにより従来の液晶や反転液晶タイプのものとは異なるカラーを実現しました。また、内部照明により暗闇の中でも表示内容を確認することができます。１日に１回、アラーム音と内部照明の点滅でセットした時刻を知らせるデイリーアラーム機能を搭載し、ストップウオッチ機能、２種類（プリセット／フリー）のタイマー機能を備えたデジタルウオッチです。

●PN液晶（ポリマーネットワーク液晶）
高分子分散液晶のことで、通常は光を拡散する性質があり白色に見えますが、通電すると透明になります。この時計では、数字の部分のみ通電させることにより白地の液晶部分に数字だけ透明に見えるという新しいデジタルウオッチの見え方を完成させました。

１　時刻・カレンダー機能
・（年）、（月、日、曜）、時、分、秒を表示します。
　（月、日、曜は、カレンダー表示の時のみ表示し、年は時刻合わせの時のみ表示します。）
・1997年１月１日から2046年12月31日までの50年間、うるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。

２　ストップウオッチ機能
・1/100秒単位（１時間経過後１秒単位）で計測ができ、スプリット計測も可能な100時間計です。

３　タイマー機能
・３分、５分、10分、15分、30分、45分、60分の7chの初期値がセットされたプリセットタイマーと１分から60分まで１分単位で設定可能なフリータイマーがあります。

４　アラーム機能
・設定した時刻（時、分）に毎日アラーム音と内部照明の点滅で知らせるデイリーアラームです。
・アラームのon/--（セット／解除）を切り替えることができます。

５　内部照明機能（LED方式）
・専用ボタン操作により、どのモードでも１回押しで約３秒間点灯します。
・内部照明点灯中に各機能で使用するボタンを押すとさらに約３秒間点灯します。
　（LED：Light-Emitting Diode：発光ダイオード）

■ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻表示

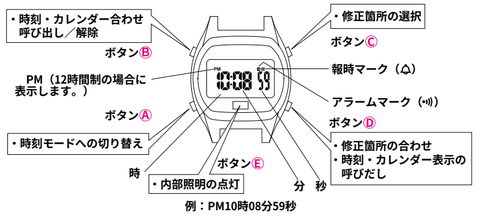
※ストップウオッチモード以外でストップウオッチモードマーク『CHRO』が点滅している場合は、ストップウオッチが計測中であることを示しています。

●ボタン Ⓐ を押すごとに、つぎの順序で切り替わります。

※操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。
「アラームモード」から「時刻モード」に切り替わる所のみ音色が違います。
（操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。）

■時刻・カレンダーの合わせかた

●ボタンの名称とはたらき



例：PM10時08分59秒

例：12月１日月曜日（約５秒）

●ボタン Ⓐ を押して「時刻モード」状態にしてください。

①ボタン Ⓑ を２～３秒間押し続けると、「秒」が点滅し「時刻カレンダー合わせ」状態になります。

②ボタン Ⓒ を１回押すごとに次の順序で合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。
※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

ボタンⒸを押すたびに修正箇所が替わります。

秒 → 分 → 時 → 日 → 月 → 年 → 12H/24H

③ボタン Ⓒ を押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタン Ⓓ を押すと「00」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタン Ⓓ を押すと１分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。

④ボタン Ⓒ で合わせたいところを点滅させたあとボタン Ⓓ を１回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（「秒」「12H/24H」を除く。）
※ボタン Ⓓ を押し続けると、早送りできます。

⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終りましたら、ボタン Ⓑ を１回押して「時刻モード」にもどしてください。押し忘れた場合でも２～３分後には「時刻表示」へ自動的にもどります。

※カレンダーは1997年から2046年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
※報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。

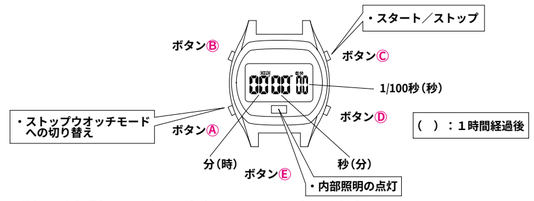
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。
ボタン Ⓒ とボタン Ⓓ が同時に押された状態です。その場合は、Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔいずれか１つのボタンを押して、「時刻モード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

＝全点灯表示＝

■ストップウオッチの使いかた

・1/100秒単位、100時間計です。
・最大計測時間は、99時間59分59秒です。

●ボタンの名称とはたらき



・ボタン Ⓐ を押して「ストップウオッチモード」にしてください。

●普通の使いかた

例：100メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓓ）

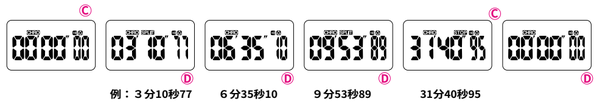
●時間計測を積算でおこなう場合
例：バスケットボール（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓒ…→Ⓒ→Ⓓ）

※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

●２人のタイムの計測をおこなう場合
例：200メートル競争
（ボタンを押す順序：Ⓒ → Ⓓ → Ⓒ → Ⓓ → Ⓓ）
１位ゴールインのとき押す　　２位ゴールインのとき押す
スタート →（１位タイム：30秒20）→（表示は１位タイムのまま）→（２位タイム：35秒27）→リセット

●スプリット計測をおこなう場合
例：10,000メートル競争
（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓓ→Ⓓ…→Ⓓ→Ⓒ→Ⓓ）

スタート → スプリット → ラン → スプリット… → ラン → ストップ → リセット

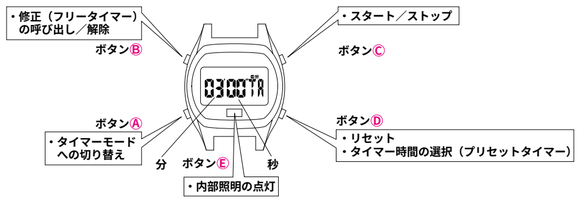


例：３分10秒77　６分35秒10　９分53秒89　31分40秒95

■タイマーの使いかた

・タイマーは、３分、５分、10分、15分、30分、45分、60分の７つの初期値がセットされたプリセットタイマーと１分から60分までの１分単位で設定可能なフリータイマーがあります。

●ボタンの名称とはたらき



・ボタン Ⓐ を押して「タイマーモード」にしてください。

●プリセットタイマーの使いかた
ボタン Ⓓ を押すごとに次のようにタイマー時間が換わります。

３分 → ５分 → 10分 → 15分 → 30分 → 45分 → 60分 → ３分

計測例：タイマー時間　45分
（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓒ…→Ⓒ→Ⓓ）
スタート → ストップ → 再スタート… → ストップ → リセット

※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
※タイムアップすると５秒間タイムアップ音が鳴ります。
※鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓ、Ⓔ、いずれか１つのボタンを押してください。

●フリータイマーの合わせかた
・７つのタイマーのどこのタイマーからもフリータイマーの「呼び出し」ができます。
・フリータイマー１分から60分までの１分単位で合わせることができます。
例：40分にセットする場合

①ボタンDを押して「30分」のプリセット表示にします。

②ボタンBを２～３秒間押し続けると「30」が点滅表示し「合わせ状態」になります。

③ボタンDを押して、「40」に合わせます。
※１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。
※押し続けると早送りできます。

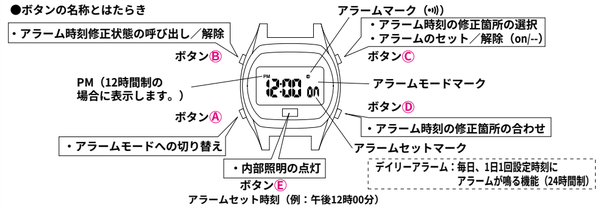
④セットが終わりましたらボタンBを押して「タイマーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも２～３分後には「タイマーモード」へ自動的にもどります。

※セットされたフリータイマーのセット時間はタイマーモードのリセット状態でボタンDを押すと解除されます。

■アラームの使いかた

・デイリーアラーム付きです。
・アラームのセット（on）／解除（--）の切り替えができます。
・アラーム設定時刻になるとアラーム音および、LED点滅が交互に報知します。

●ボタンの名称とはたらき



アラームセット時刻（例：午後12時00分）

●アラームの使いかた
・ボタン Ⓐ を押して「アラームモード」にしてください。

① ボタン Ⓑ を２～３秒押し続けるとonまたは--表示が消え、「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。

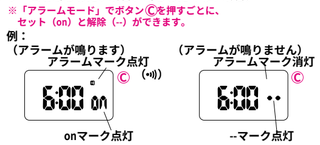
② ボタン Ⓒ を押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。

③ 合わせたいところを点滅させたら、ボタン Ⓓ を１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。

④ セットが終りましたらボタン Ⓑ を押して「アラームモード」にもどしてください。アラームマークとセット（ON）マークが点灯します。押し忘れた場合でも２～３分後には「アラームモード」へ自動的にもどります。

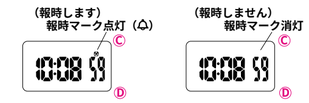
※ボタン Ⓓ を押し続けると、早送りできます。
※12時間制の場合は、午前／午後（PM）に注意して合せてください。
※アラーム表示の12H/24Hは、「時刻」の12H/24Hに連動しています。

●アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合。
※「アラームモード」でボタン Ⓒ を押すごとに、セット（on）と解除（--）ができます。
例：



●鳴っているアラームを止めるには。
※アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時は、ボタンⒶⒷⒸⒹⒺいずれか１つのボタンを押してください。

●アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除をする場合。
※「時刻モード」でボタン Ⓒ を押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。
また、ボタン ⒸとⒹを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。



※報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。